

12月末に調査した2007年1月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2007年1月の消費意欲は、先月から3.6ポイント減少し、
54.7点でした。

11月、12月に続き1月も2001年以降での最高値を記録。

■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

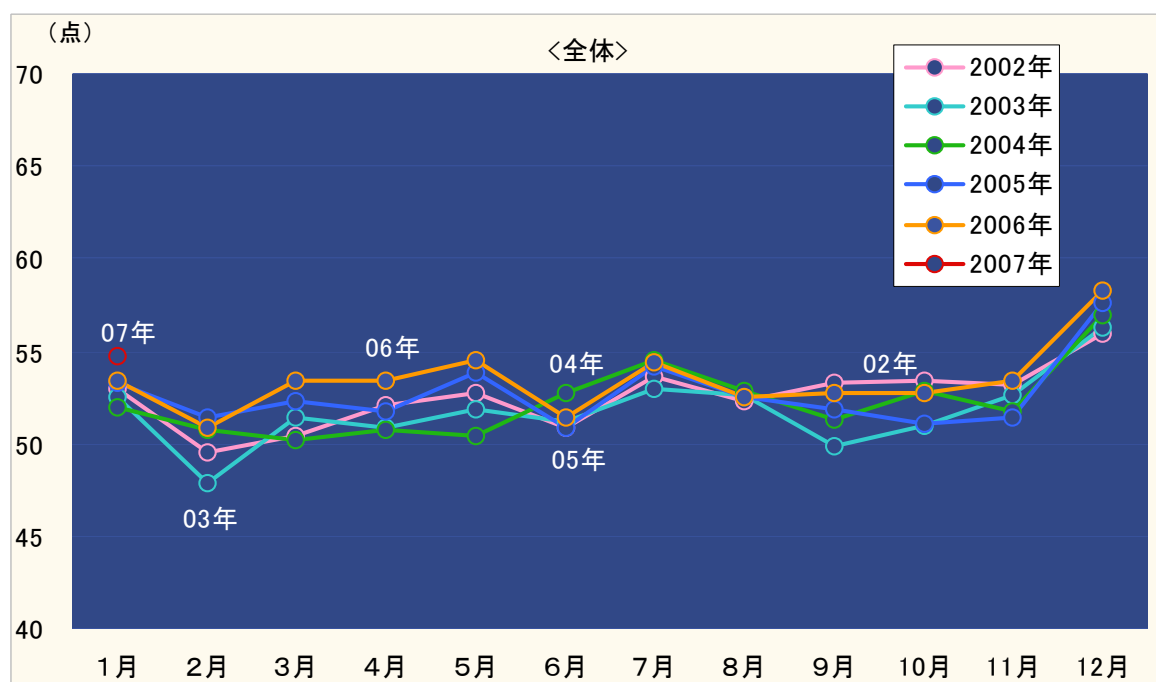
12月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者420名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2007年1月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「1月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2007年1月の消費意欲指数は、先月から3.6ポイント減少し、54.7点でした。

1月の消費意欲指数は例年12月の反動で落ち込み、昨年12月と比較し3.6ポイント減少の54.7点となりました。しかし、前年比は1.2ポイントの増加で、1月としては2001年以降の最高値を記録しました。また、昨年11月からの消費意欲指数も3ヶ月連続で2001年以降の最高値を記録しています。

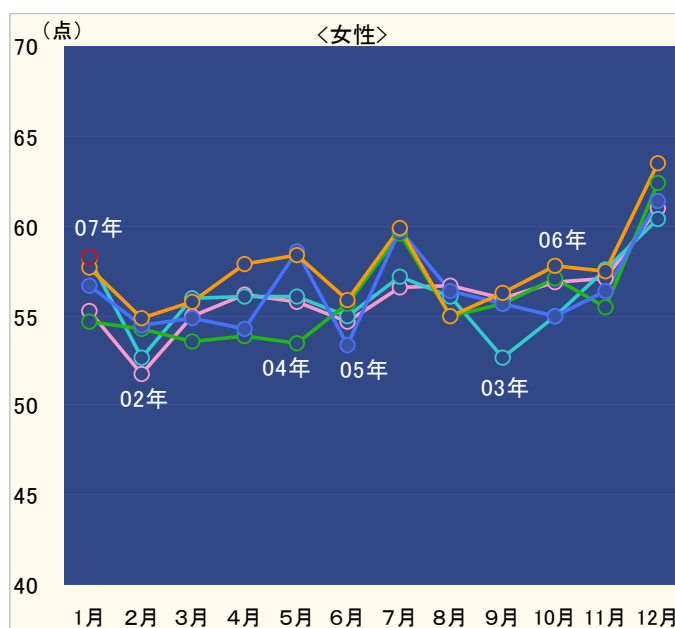
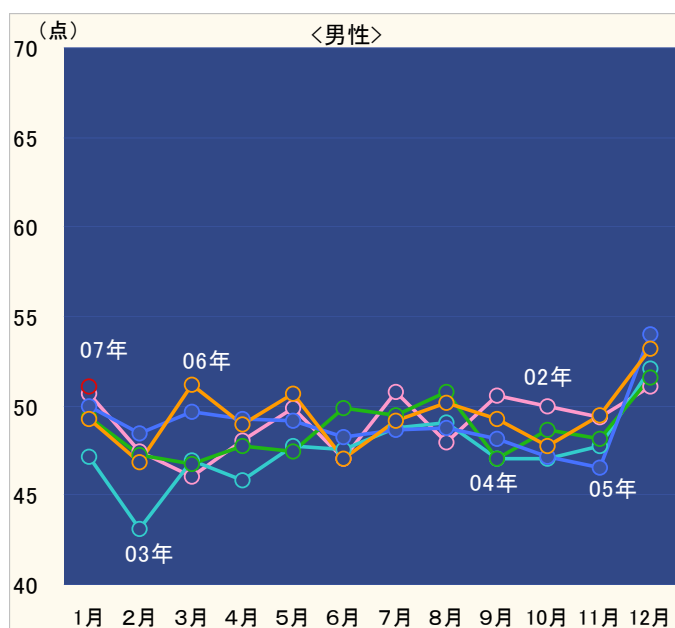
スタートは順調な消費意欲指数ですが、企業業績の好調さが家計に波及し個人消費に向かうかどうかは、今後の消費意欲の鍵になりそうです。2月は消費意欲指数が例年大きく落ち込みますが、その度合いに注目したいところです。



■ 女性の消費意欲指数が5ヶ月連続で2001年以降の最高値を記録。

男女別の1月の消費意欲指数は、男性が先月比-2.1ポイントで51.1点、女性が-5.1ポイントで58.3点となりました。前年同月比では男性が+1.9ポイント、女性が+0.6ポイントとなっています。1月の消費意欲指数としては、男性が2002年以降、女性が2001年以降の最高値を記録しました。また、女性の消費意欲指数は、昨年9月以降5ヶ月連続で2001年以降の最高値を記録しています。

同時調査の生活力点では、新年を迎えたということもあり男女とも「家族との生活」に力をいれたい、という人の割合がこの数年で最も高くなっています。「モノ消費」項目では、男性では平均的な数値、女性では「中くらいの買い物」「日常的な小さな買い物」は平均的ですが「大きな値の張る買い物」はかなり高い数値を示しています。



※博報堂生活総合研究所のHP (<http://seikatsusoken.jp/>)では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要:HILL ネット調査】

調査地域:首都圏／ 調査対象者: 19～73才の男女個人420人／ 調査方法:郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。

